

科目名	政治のシステム（7058）
担当者名	小林誉明こばやしたかあき
開講期	通年
単位数	4単位
曜日時限	金曜 3時限
教室	B 2 0 2
授業テーマ	政治学の理論枠組を用いて、集合的意思決定としての政治の仕組みを理解する。政策決定の背後に潜む政治的メカニズムを捉え、社会現象を政治学的に考える思考を身につけることに主眼を置く。常に「なぜ？」という疑問を持ち考える姿勢を重視する。
授業計画	前期は、自由、人権、国家、社会契約、正統性、権力とは何かといった政治学の基礎概念を習得した上で、民主主義国において政治的意思決定がどのように行われるのかを学ぶ。具体的には選挙、政党、利益集団、社会運動、汚職、ガバナンスなどのテーマを扱う。後期は、前期の知識をもとに、権威主義国家、多民族国家、先進国、途上国など様々な地域における政治システムの実態を概観し（比較政治）、革命や民主化などの変化について学んだ上で（政治変動）、NGO、国際機関、国家間の政治（国際政治）までカバーする。

授業計画			
回数	授業タイトル	学習のポイント	参考頁(テキスト)
1回	イントロダクション	現在の社会で発生していることについて「政治学」ではどのように捉えるかを示す。	
2回	政治とは何か？	政治とは、ぶつかり合う価値観どうしの対立を、より上位の立場から調整し決定することについて学ぶ。	
3回	なぜ国家が必要なのか？	一定の領域内において通用するルール（=国家）が無ければ、人々の共存が不可能なことについて学ぶ。	
4回	なぜ国家は存続するのか？	Nation（国民）を創ること（Nation Building）によって国家の正統性が維持されるという原理を学ぶ。	
5回	だれが決めるか？	民主主義の本質とは、政治的決定において「みんなで決める」こと。みんなの間で意見の相違があるときには、話し合い（討論）によってコンセンサス（同意）を形成してゆく必要があるという点を学ぶ。	
6回	民主主義のもとではどのような政策が採用されるのか？	ダウズモデルに基づき、民主主義のもとでは、全有権者の中における中位置の投票者の選好が採用され、中立的な政策へ収斂するという原理を学ぶ。	
7回	代議制民主主義において「みんな」の意思が明らかになるには？	有権者一人ひとりの意思が投票行動による代議士の選択を通じて明らかになるという仕組みを学ぶ。	
8回	代議制民主主義において「みんな」の意思を決める人はどのように決められるのか？	比例代表制度および多数代表制といった選挙制度について学ぶ。	
9回	民主国家の議会はどのような環境におかれているか？	行政府との関係における立法府の位置づけについて学ぶ。	
10回	民主国家の議会ではどのようなメカニズムで決定が行われるか？	民主的決定に内在する投票のパラドックスおよびアジェンダコントロールについて学ぶ。	
11回	民主的政治システムにおける決定のチャンネルは議会だけか？	圧力団体や社会運動といった議会外での決定について学ぶ。	
12回	民主的政治システムのもとで何が決定されるのか？	小さな政府と大きな政府といった政策の違いについて学ぶ。	
13回	民主的政治のシステムは機能しているのか？	現実社会において民主主義がどのような結果をもたらしているのかについて学ぶ。	
14回	特別講義	政治の現場の生の声を聞くために、招聘講師を招いて講義をしていただく。	
15回	まとめ	前期の内容についてのまとめをおこなう。	
16回	前期の復習	前期の内容の復習を行う。	
17回	世界の人々の生活と政治システムとはどう関係しているのか？	「政治体制」の違いは人々の生活のあり様を左右をするというこついで学ぶ。	
18回	民主化以前の国ではどのように決定が行われているのか？	「みんな」ではなく少数者に有利な政策が決定される「収奪国家」について学ぶ。	
19回	政治システムはなぜ変化するのか？	政治ゲームのルールが決まっていななかで、様々なアクター（特に旧体制勢力と民主勢力）が互いに正統性を獲得するために争う過程を経て、民主化が進行してゆくという「政治発展」について学ぶ。	
20回	政治システムが変化する様子はどのようなものなのか？	ルーマニアの革命を題材にして「政治変動」の実態を学ぶ。	
21回	実際の国づくりはどのようにおこなわれているか	イラクにおける憲法制定プロセスを題材にして、無知のベールのもとでの制度設計について学ぶ。	
22回	国の状況に応じてふさわしい政治のシステムは？	多民族社会において適用される「多極共存デモクラシー」の仕組みを学ぶ。	
23回	先進国でも政府の失敗が起ころのはなぜか？	「福祉国家」の肥大化を例としてログローリングの仕組みを学ぶ。	
24回	国内政治の対外的影響はどこまで届くのか？	一国の政治が国境を超えて他の国に及ぼす影響を学ぶ。	
25回	国際社会における決定の仕組み	戦争を題材として国際政治の基本的な仕組みを学ぶ。	
26回	国際社会における決定の仕組み	通商を題材として国際政治の基本的な仕組みを学ぶ。	
27回	国際社会における決定の仕組み	援助を題材として国際政治の基本的な仕組みを学ぶ。	
28回	国際政治は国内政治をいかに規定しているのか？	グローバリゼーションの時代における国内政治の決定メカニズムを学ぶ。	
29回	特別講義	政治の現場の生の声を聞くために、招聘講師を招いて講義をしていただく。	
30回	一年間のまとめ	一年間のまとめを行う。	

履修条件・成績評価の基準等	前期末および後期末の筆記試験及び授業への貢献等から総合的に評価する。
教科書	木村宏巨他編（2011）『開発政治学入門』勁草書房
参考文献	適宜提示する。
その他	